

無所属
市議会議員

3期

むつみ

わくわく
ねっと
ニュース
2021年版

◆議員通信簿(市民オンブズ尼崎公表)
2017年2021年連続総合1位

すだ和

すだ和はいかなる政党や政治団体にも所属していません。
すだ和のニュースは、すべて自費で発行しています。

ハリセンボン
じゃねーよ!

対談 露の団姫 VS すだ和



女性センターの民間人所長を経て、立候補を決意されたとのことですが、どうして市議会議員になろうと思ったのですか?

女性の自立と社会参画を推進する自治体の場で仕事をしており、女性が意思決定の場にもっと参画できるようにという思いが強くありました。女性の活躍推進を目指す活動をしている女性たちから立候補要請があり、当時の市長白井文さんや当時の県議稲村和美さん(現市長)、勇退する女性議員の支持者たちの応援があることも決心につながりました。

2009年5月のこの写真、これは市政についての考えを駅前ですべておられるのですね。白井文前市長、稲村和美現市長の表情もすばらしいですね。



▲ 2009年5月 阪急武庫之荘駅前

もう、12年も前ですね。駅前で行き交う人に対してマイクで話すということが苦手で、よくお二人には叱咤激励されました。2021年4月現在は、新型コロナウイルス感染症防止のために、駅頭での街宣や集会、戸別訪問は自粛しています。

女性の政治参画を増やそうという論文も書かれましたが、落語家や僧侶の世界も、まだ女性が活躍する数は少ないです。

だれもが、性別、年齢、国籍、職業や信条などによって差別されることないまちに、尼崎は近づきつつあると実感していますが、特に女性の参画に関しては課題が多いと思います。

この写真の背景のスペースは、現在駐輪場ですね。私は市内外を自転車で移動しますので、駐輪場やマナーについても非常に興味があります。

団姫さんは毎日自転車で移動されていますね。西長洲に、寄席を開いたり、お悩み相談を受けたりできるお寺を建設中、がんばってられますね。

ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症によって、計画が予定通りに進まないのですが、多くの方の応援をいただいていることは、非常に励みになります。

そのお寺となる場所で、昨年、感染防止対策を徹底し、およそ十人のみ対象の落語会を開かれました。ちょうど、読売テレビ番組「ten.」の「ノゾキミ」番組が取材に来ていて、私もインタビューされました。何もかも中止の中、閉塞感がただよう中で、なんとかして、生で落語を聞いてもらいたいということに感動したことをマスク姿で答えたことは忘れられません。

距離をあける、なんども消毒する、検温と手指の消毒、そして、常にマスクをつけていただくことを理解して来てくださるお客様には感謝です。オンラインで聞いてくださった遠方の方々も喜んでくださいました。

私も応援しています!

豊来家大治郎 (太神楽曲芸師/露の団姫さんの夫)

子育て中の父親として、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりをめざす須田さんに、もっともっと活躍してもらいたいです。

2017年の市議選の折、私の選挙ポスターを団姫さんがTwitterで発信してくださって、15000リツイートもされ、たくさんの方が、事務所や街宣車に集まって来られました。選挙の3か月後、フジテレビの番組でも取り上げられました。

若い人にも広がっていて、まだご自身はTwitterをされていなかったのが、ほんとうに驚かれたでしょう?

SNSの効果にはほんとうに驚きました。今年度、尼崎市教育委員会は学校での情報モラル教育に関する取り組みを行います。きっと、大人も知らなければならないことだと、注視しています。議員として、教育、子育て、女性の政治参画、そしてコロナ禍によって支援が必要な状況にある方々へ、どのような施策が必要か、考え、市に提案していきたいと思っています。

(次号につづく)



イラスト: 山本 郁

コロナ禍の中で まちづくりにかける思い

稲村和美市長とすだ和

女性センターの民間人初の所長に就任してすぐ、県会議員の稲村和美さんと出会いました。人の話を聴き、すぐに率直な返答をされ、頭のいい人だなあ、というのが第一印象でした。民間人として公共施設を運営する私に、市民と行政との協働について、すばやく論点整理をされ、的確に助言もしていただきました。30歳から県議、2010年からは市長を務めておられる中では、市制100周年記念事業、ひと咲きプラザの開設、寄附をされた尼崎城といった良いことばかりでなく、広域停電や新型コロナウイルス感染症蔓延といった危機にも、しっかりと市政のかじ取りをされておられると、私は信頼しています。

2020年に発行された国立女性教育会館の「NWEC実践研究 第10号」に、すだ和は「地方議員の政治参画を進めるには女性議員ゼロから女性比率県内トップとなった小野市議会 女性の市長が二代続く尼崎市」と題した論文を寄稿しております。右記のQRコードからダウンロードできますので、148ページからの稲村和美市長へのインタビュー「県議から首長へ ロールモデルとして」を読んでいただきたいと思います。



▲ 2021年1月 消防出初式



▲ 2020年10月
永年在職市議会議員自治功労者表彰

■議会での発言は

すだ和は、議会で市政に対する質問をし、課題について、批判をする時間よりも提案することに時間を使いたいと思っております。そのために、様々な立場の方の声を傾聴し、ともに考えていくという姿勢を持ち続けたい。政党に所属しておらず、特定の団体からの推薦なども受けておりませんので、相談したいことがある市民のみなさまには、身近で信頼がおけると評価していただいています。この12年間の中では、もう一度考えましょと提案することや、はっきりとNOを申し上げる場合もありました。

■2009年9月議会から2019年12月議会まで、すだ和が議会で質問したテーマは

- | | |
|------------------------|--------------|
| ●女性職員の管理職登用 | ●審議会の女性登用率 |
| ●男女共同参画の視点での被災者支援・防災計画 | ●人材育成講座 |
| ●性暴力・DV・虐待の根絶 | ●国際交流・多文化共生 |
| ●市民ニーズに応えた相談時間 | ●多胎児の親支援 |
| ●指定管理者制度、市民の学びを地域に活かす | ●10代のまちづくり参画 |
| ●ひとり親家庭支援 | ●不登校対策 |
| ●ソーシャルビジネス支援 | ●職場でのセクハラ防止 |
| ●ダイバーシティ推進施策 | ●たばこ対策 |
| ●弁護士職員の任用 | ●ファミリー世帯転入策 |

■新型コロナウイルス感染症拡大蔓延後は、市民の課題やニーズに応えた取組について、重点的に質問・提案をしてきました。

- 市庁舎、公共施設等の感染防止対策について
- 生涯学習・社会教育事業の実施と市民の参画・参加について
- 生活困難な状況にある市民への対策等について
- 公共施設の事業中止等について
- コロナ禍における避難所の運営
- 市民の生活への影響に関する調査の提案
- 父親も含む「産後うつ」対策について
- コロナ禍後の市長施政方針について

(2021年3月議会の質問)

- 性に関する授業・教育、市立学校の制服について
- 東日本大震災被災地支援一気仙沼市への市職員派遣について



兵庫県内の無所属議員の友人たち

今里朱美 (6期目/姫路市議)



議員になる前からのおつき合い。飾らない人柄と、男女平等から始まり多様性を認め合う社会に向けて、真摯に活動されている姿勢を尊敬しています。

肥後淳三 (3期目/三田市議)



私は元尼崎市職員であり、子どもどうしが同じけいこことをしていたつながりもあります。須田さんの鋭い感性にいつも感服させられています。

家根谷敦子 (2期目/明石市議)



他市の女性議員との合同勉強会を主催いただき感謝しています。温かい人柄、無所属で積極的に活動され、尊敬しています。

鈴木久美子 (1期目/伊丹市議)



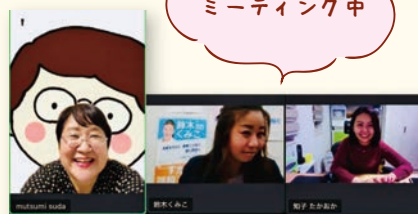
「無所属だからできること」を突きつめ、身近な課題に取り組む姿勢や情報発信力をお手本にしています。相手がしてもらって嬉しいことを自然にできる方です。

孝岡知子 (1期目/芦屋市議)



初の選挙で不安だった時、街頭演説の応援をいただき勇気がもてました。愛をもって厳しく助言もしてくれて、思いやりあふれる憧れの先輩議員NO.1です！

オンライン
ミーティング中



聞かせて! すだ和さんってどんな人?



高原めぐみ
(介護施設長/南武庫之荘)

女性が直面する課題は、多様化しています。“普通”の女性の声に耳を傾け、草の根の対話を通じて、政策に活かしてくださる方です。



犬童みどり
(フラワーアーティスト/武庫之荘)

まじめで聡明で努力家で…そしてユーモアたっぷり。尊敬する女性です。私が作る花をとて評価してくださってうれしいです。



辻本由美
(薬膳料理講師/神田南通)

薬膳を通して、健康や命を考えていく中で、須田さんと食でのボランティアを思案中! 信頼できる方です。須田さんのだし巻は絶品ですよ。

仲村知子

(琉球舞踊・文化/南武庫之荘)

身近な問題、小さな不安にも真剣に耳を傾け、解決に導いてくれる、とても頼りになる存在です。



林樹里

(主婦/武庫之荘)

むっちゃんはコロナ感染拡大の中で、出産をする不安な気持ちを受け止めて、出産特別給付金の支給対象となる期間の延長を議会で発言してくれました。



高原周治

(小児科医/南武庫之荘)

女性センター所長時代からずっと、日常の子どもの問題や福祉について議論もしています。熱心でまじめ、でも、おもしろい人です。



加藤道子

(元近松応援団/三反田)

女性センター所長に民間人として就任してからのがんばりを見ています。無所属を貫いて苦勞をしていますが、みんなのために、がんばれ!



田中準子

(音楽学院主宰・会社経営/武庫之荘)

お顔ににじみ出る温かく愛情深いお人柄。行動力・実行力・伝達力もすばらしく、明るい未来のために応援しています。



福丸利律子

(会社経営/南武庫之荘)

色々な心配りで尼崎を支えてくださりありがとうございます。これからも女性の目線でごんばってください!

津久井進

(弁護士/武庫之荘)

防災、被災者支援における、ジェンダーの視点、当事者に寄り添うことについて、情報や意見交換をし、学び合う貴重な存在です。



真鍋勝代

(ピアノ講師/南武庫之荘)

20代の息子、高校生の娘の自立の時に、私が直面する子離れの悩みに、寄り添って話を聴いてくださり、感謝しています。



山田真希

(女子軟式野球チーム/南清水)

まだ数少ない野球女子の応援をしてくれ、励みになります。市政情報もわかりやすく教えてください。



佐々木めぐみ

(児童ホーム運営/武庫之荘)

私たちが暮らしやすくなるためにアクティブに活動されています。いつも笑顔で街に溶け込む素晴らしい方です。



渡辺一弘

(外科医/南武庫之荘)

武庫之荘駅地下通路をわたるベクリニック有志でボランティア清掃した時には、須田さんに諸手続きから当日の安全確保などに活躍してもらい、交通マナーやタバコのポイ捨て問題についても意見交換を続けています。



山口麻里

(社団法人理事・防災士/武庫之荘)

温かさ、ユーモア、細やかな気配り。活動に必要な最新情報をわかりやすく教えて下さいます。人育て力を尊敬しています。

黒田奈美

(ネイルサロン/東園田)

女性センター所長をされていた時から長いおつきあい。女性の自立、仕事、子育て等の課題について、よくお話をし、頼りにしています。



岩田さやか

(大学講師・防災士/武庫之荘西)

ジェンダー平等推進のために、いつも情報を収集し、わかりやすく発信し続ける姿勢が、すばらしいと思います。



市外からも応援しています!

霜越春樹

(写真家/大阪市)



この人の存在が、そのがんばりが尼崎を支えていると思います。真つすぐな人です。全力で推薦します。

行本充子

(子育て支援社団代表/千葉県)



私には、第二の母のような存在です。

尼崎に在住しているときから、転居後もなお、親子でお世話になっています。子育て支援や女性活躍についての情報交換を今はオンラインで。

西城かね子

(元市職員/宮城県気仙沼市)



3.11発災後まもなくから来訪、ちょっと方向音痴なのにマメに被災者を巡り、声を聞いてくれて、心から感謝しています。さりげなく置いて行ってくれた暖かいコートとお布団、今でもそのぬくもりに包まれています。



コロナ禍でも 市民の声と市政をつなぐ

- 専門家の見識と現場の声に裏打ちされた方策をたてるよう市に求める
- 市政からの正しい情報を、信頼されている立場である議員として、責任を持って発信する
- インターネットを利用できない市民への情報提供の方策を議論

さらにめざすもの

- 2022年1月、中学校給食が開始予定。安全に、円滑に、アレルギー対策や多文化の食も尊重するおいしい給食を。
- シニア世代の市民の知見を活かすまちづくりは、価値観が多様であることを知り、話し合いを重ねる場をつくる。
- ファミリー世帯のワークライフ・バランスに関する尼崎モデルの構築を。
- ひとり親家庭の就労支援策、新設の外国人相談窓口の運営に、当事者の声を聴く。
- コロナ禍での観光施策について、豊富な人財の住む尼崎ならではの取り組みを。

すだ和 プロフィール

- 1956年11月、広島県竹原市に生まれる。父親は郵便局員。母は和裁。妹の4人家族で育つ。県立広島高校を経て、1975年、大阪外国語大学(現・大阪大学外国語学部)インドネシア語学科に入学。商社勤務の後、結婚、二児の母親に。
- 1991年から地域密着の子育て応援情報誌「大阪子連れパワーアップ情報」を自費出版。母親の視点で提案活動や講演、原稿執筆など。
- 兵庫県立男女共同参画センター他に勤務し、2004年から2009年3月、女性センター・トレビエ初の民間人所长として、受講者のエンパワーとより利用しやすい館へと改革。
- 文部科学省女性のライフプランニング支援総合推進委員、兵庫県ユニバーサル社会づくり総合指針検討委員、兵庫県県民交流広場事業審査員ほか、県内自

治体の公職多数。

- 2009年6月、白井文市長(当時)、稲村和美県議(当時)ら多数の市民の応援を受けて、尼崎市議会議員選挙に無所属で立候補、初当選。2013年、無所属で2期目当選。2017年、無所属で3期目当選。
- 議会では、5つの常任委員(文教、経済環境市民、総務消防、健康福祉、建設企業)すべてを務め、男女共同参画審議会委員、農業委員、社会保障審議会委員、都市美委員、尼崎医療健康財団理事、総合文化センター理事などを歴任。

● 役員や会員になっているNPOや団体など(順不同)

男女共同参画ネット尼崎、スペシャルオリンピックス尼崎プログラムを支える会、尼崎倶楽部、NPOグループ・コスモス、しんぐるまざーずふぉーらむ・尼崎、性暴力相談支援センター・ひょうご、日本ボーイスカウト兵庫連盟尼崎地区後援会、ウィメンズネットこうべ、フェミニストカウンセリング神戸、兵庫自治学会、人間塾、日本女性学習財団、市川房枝記念会、ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン、ヒューマン未来、尼崎市国際交流協会



活動報告

(2009~2021年)

議会以外ではこんなこともしています



二部制で、感染対策を徹底した成人の日のつどい。



本庁舎敷地内「打ち水大作戦」に参加。



あまがさきと咲プラザがオープン。稲村和美市長、松本眞前教育長と。



三和通商店街「押しチャリンピック」に出場し、名前を明かさず入賞。



障害福祉センターで、車椅子ホッケーの仲間入り。



大井戸公園でバラの花がら摘みをボランティアのみなさんと。



花とまち委員会の皆さんと、武庫之荘駅前噴水広場にチューリップの球根を植えました。



たそがれクリーンキャンペーン。



1.17 午前5時46分神戸市東遊園地で「阪神淡路大震災1.17のつどい」に参加。



小学校通学路、住宅地発砲事件時の見回り。

連絡先

すだ和 事務所 (5月19日から6月9日)

〒661-0033 尼崎市南武庫之荘1-15-5
パレス武庫之荘(高原クリニックのビルです)

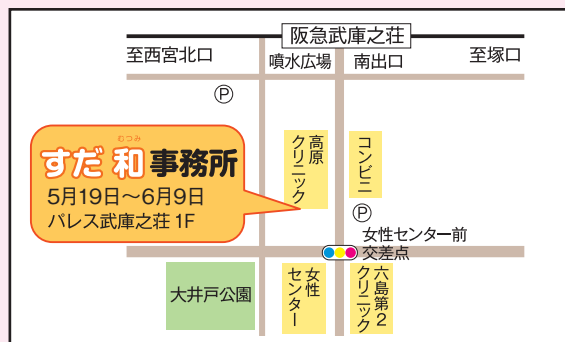
電話 080-5333-0242 / info@suda-mutsumi.com

尼崎市議会議員 すだ和 公式サイト
<https://suda-mutsumi.com/>



すだ和(尼崎市議会議員)Facebook ページ
<https://www.facebook.com/sudamutsumi>

カンパはこちらをお願いします。
ゆうちょ銀行 00980-1-271585
須田和とわくわくねっと



<お願い>

2017年の選挙では、とても大勢の方が集まって下さり、お花などもたくさんいただいて、にぎやかな事務所でした。応援してくださったみなさまに、改めてお礼申し上げます。しかしながら、この度の選挙においては、新型コロナウイルス感染防止のため、限られたボランティア、サポーターのみなさんによって選挙事務所の運営をする予定です。対策はとりますが、集会や事務所開きなどは自粛いたします。心苦しいお願いですが、お花、飲食物等の差し入れもご辞退申し上げますことをお許しください。なお、車の運転やポスターの掲示などは、引き続きご支援賜りたく、万全の感染予防対策をとっております。どうぞよろしくお願いいたします。